

(別添資料1)

事業所名

社会福祉法人・四日市福祉会  
ブルーミング・コフレ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日：令和8年

2月10日

法人（事業所）理念	・周囲を大切に思い理解に努める ・自立を支える ・より多くを学び成長する					
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが「ここにいてもいいんだ!」と思える場所をつくる</li> <li>・個人のペースに応じた成長を見守り、強みを活かしていく</li> <li>・児童の目線・親の視点から考えていけるように職員も成長していく</li> <li>・将来に目を向けた支援を行う</li> </ul>					
営業時間	9 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎 施設の有 無	あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことをできるだけ、自分でできるようになる。（衣類を着たり、脱いだり。自分の持ち物を管理するなど）</li> <li>・トイレにいきたいときや体調が悪いときなど、人に伝えたり、伝えられる方法を身につける。</li> <li>・手洗い、うがいなどによる感染症の予防を行う。</li> <li>・<b>身体の健康だけではなく、心身も安心して過ごせる雰囲気作りをこころがけていく</b></li> </ul>				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動や遊び・リズムダンス等を通して、身体を動かし、心身の安定、身体を動かす楽しさを身につける</li> <li>・指先を使った活動・遊びを行うことによって物を作ることを楽しんだり、道具の使い方を学ぶ</li> </ul>				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊び、活動、子ども同士のかかわりを通し、人とのかかわり方を学ぶ</li> <li>・車・自転車など公道での危険を学んでいく。</li> <li>・ブルーミング・コフレの環境・職員・お友達に少しずつ慣れていく。</li> </ul>				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々に応じたコミュニケーションの方法を知り、児童の思うことを理解し、次のステップの伝え方を見つけていく</li> <li>・あいさつや伝えたいことを自分なりの方法で相手に伝えてみる。</li> <li>・嫌なことがあったとき、相手への伝え方を学んでいく。</li> </ul>				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での活動を通し、社会活動・交流・経験の幅を広げていく</li> <li>・ブルーミングでの活動を通し、ルールやマナーを守ることを身につけていく</li> <li>・子ども同士・ブルーミングハウスの職員・地域の方とのかかわりを通し、顔見知りの人を増やしていく。</li> </ul>				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や面談の機会等を設け、保護者の御意向・要望等を聞く機会を設ける</li> <li>・保護者の働きやすい環境にご協力するため、「延長」支援で対応させてもらう</li> <li>・安全計画・支援プログラム・各種マニュアルを各保護者に配布、説明を行い、事業所の理解に務める。</li> </ul>	移行支援	児童発達支援から放課後等デイサービスに向け、少しずつ慣れるように低学年の児童と一緒に活動を行ってみる。			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物、ポスティング等のお手伝いにより地域の方と顔見知りができる活動を行っていく。</li> <li>・支援につまづいたときは相談支援事業所、保育所・幼稚園等と連携を行い、アドバイスをいただく。</li> <li>・ボランティアの方の受け入れを行ない、ブルーミングのことを知ってもらう。</li> </ul>	職員の質の向上	外部研修・法人内研修に参加 障害者虐待防止・権利擁護研修の研修講師として職員も参加。			
主な行事等	・隔週、土曜日・日曜日に地域でのイベントに参加したり、事業所・法人でのイベント・調理実習・おやつづくりを開催					